TOHO CAR CORPORATION

2025 年 4 月 24 日

ＧＶＷ３６トン車級「土砂運搬ダンプセミトレーラ」の新モデルを発売

―　軽量化により最大積載量２７トン以上での登録が可能となり、大量輸送ニーズに貢献　―

東邦車輛株式会社（本社：神奈川県横浜市、取締役社長 富田 政行）と新明和工業株式会社（本社：兵庫県宝塚市、取締役社長 五十川 龍之　以下、新明和工業）は、ＧＶＷ３６トン車級「土砂運搬ダンプセミトレーラ」の新モデルを共同開発し、４月２４日に発売します。

新モデルは、ボデースチフナを効率的に配置したハーフパイプ形状ボデーの採用により軽量化を実現し、最大積載量２７トン以上での登録を可能としました。さらに、トレーラシャシは当社が開発した段付き構造の専用フレームを採用することで低床化に成功し、高い走行安定性と積込み作業性も実現しました。また、ダンプ機構には定評のある「新明和天突きダンプホイスト」を採用し、トレーラ専用モデルを新たに設定しました。
リヤダンプトラックの国内トップメーカーである新明和工業と共に、今後も市場のニーズに応える新製品を開発することで、ラインアップを拡充し、お客様にとってより価値のある製品の提供に努めてまいります。

１．特　長

①最大積載量２７トン以上での登録を実現

ボデースチフナを効率的に配置した軽量かつ高強度なハーフパイプ形状ボデーの採用により、最大積載量２７トン以上での登録を可能としました。

②低床化による走行安定性および積込み作業性の向上

トレーラ側とボデー側には、断面性能を最適化した段付き構造の専用低床フレームを採用し、従来比９０mmの低床化を実現しました。それにより大型ダンプトラックの床面地上高と同等にすることで、走行安定性だけでなく積込み作業性も向上しました。

③高性能な天突き（リンク式）ホイストメカを搭載
シャシフレーム側三点支持型構造から成る高性能な天突き（リンク式）ホイストメカを搭載することで、力強く、スピーディーなダンプ作業を実現しました。

④空車時の特殊車両通行許可申請が不要
連結全長１２m以下となるトラクタとの組み合わせを可能としました。空車時の特殊車両通行許可申請が不要となり、通行経路の選択肢が拡大します。
（トラクタのホイールベース３２００mm級の場合）

⑤充実の安全装備で安心
安全棒、各軸部へのグリスアップを容易にする集中給脂装置、新明和工業製オリジナルのデジタル自重計、後退灯・後部反射器一体型テールランプなど充実の安全装備を標準設定しました。

２．主要諸元

適用シャシ		ＧＶＷ３６トン車級　３軸セミトレーラ （東邦車輌製 TF36H2C3）
架装型式		TSD275-0
荷台内法寸法	長さ	7,800mm
	幅	2,200mm
	高さ	約 1,050mm
荷台容積		約 17.6m^3
最大積載量		約 27,600kg

（注）最大積載量は仕様により異なります。

３．販売開始日
２０２５年4月２４日

４．主な用途
土砂等の運搬・排出など

本件に関するお問い合わせは、各営業拠点へお願い致します

以上